

移動の足 多彩に

都心部

羽田空港

東京都心と羽田空港を結ぶ交通手段の選択肢が広がりつつある。利用時間は短いが格安料金で使えるレンタカーや、車いすの人が楽に乗降できるリムジンバスが営業を開始。夏には東京湾

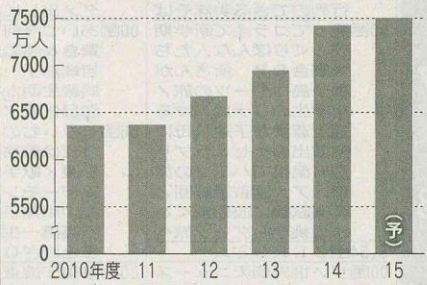
の景色を楽しめる水上バスも登場する。訪日外国人客（インバウンド）の急増などで羽田の旅客が増え続ける中、幅広い旅客のニーズに応えようとサービスの多様化が進む。

訪日客急増、ニーズに手厚く



京浜急行バスのリフト付きリムジンバス

羽田空港の旅客数は増え続けている



▼低料金レンタカー ▼車いすのままバス

パーク24傘下のタイムズモビリティネットワークス（広島市）は羽田と都内8カ所をむすぶ格安レンタカーのサービス「エアポートアクセス」を始めた。利用時間は3時間と短い。5人乗りの小型車の場合、ガソリ

ン代や保険加入料を含め片道2980円で利用できる。一般的なレンタカーは小型車でも5000円程度から相場とされ、短時間だが低料金で利用できるのが特徴だ。

大手町、品川、池袋などの都内の8店舗や空港近くの店舗で「乗り捨て」が可能。空港から都内に向かう場合は、自宅や宿泊先にスーツケースなどを運び入れたあと、車を返却するという使い方もできる。

リムジンバスの東京京浜急行バス（東京・中央）は港交通（東京・中央）は車いすのまま簡単に乗降できるリフト付きバスを15日から試験的に導入する。羽田の国際線ターミナルと東京シテイエアターミナル（同）を1日4往復する。京浜急行バス（東京・港）はすでに羽田・横浜駅で先行導入している。いずれも乗車前日までの予約が必要。東京都が東京湾の水上

交通の活性化に向け、今夏から実験を始める水上バスも注目されそうだ。羽田と浅草や台場、竹芝など臨海部を結び、2016年度は秋までの5カ月ほど毎日運航する予定で、17年度は通年運航を目指す。

都は水上バスを共同運航する企業を現在募集しているところで、具体的な便数や運賃は今後決めるという。羽田空港の旅客数はインバウンドの急増や、国際線の発着枠拡大で増加が続いている。15年度の旅客数は約7500万人と、10年度と比べ約2割増えたようだ。空港へのアクセスも輸送力だけでなく、利用者のニーズに合わせて料金や形態の多様化が求められている。